



《 坂本商店 》  
〒671-0255 兵庫県姫路市花田町小川 367-1  
TEL 079-252-3050  
FAX 079-252-8717  
E-mail:sk-hryu@topaz.plala.or.jp

・黒棧ネット  
<https://himejikurozan.net/>  
・インターネットの柄革屋  
<http://www15.plala.or.jp/show-miyabi/>



姫路黒棧

ひめ  
じ  
くろ  
ざん

## 姫路黒棧革とは

国産黒毛和牛を使用して日本古来の伝統技法である『なめしの技術』と『漆塗りの技術』を融合させたのが姫路黒棧革です。

『革の黒ダイヤ』の異名を取る黒棧革は、まるで小さなダイヤの粒を無数に散りばめたように美しい。また、摩擦に強く現在では剣道の胴胸などの武道具に使われ、戦国時代には、大将クラスの甲冑に使われていたと言われる代物です。

## 姫路黒棧革ブランド化コンセプト

黒棧革の歴史的背景と独特な素材のイメージから『THE 日本の革』というコンセプトを前面に出し、商品と共に出来上がったブランドを今まで取り扱いのなかった業界にも積極的にアプローチを行うことで認知を拡大し、革及び革製品の新たな可能性を探っていきたくと考えています。

日本から世界へ発信できるブランドに成長できるよう尽力し、市場で評価されたいと思っ貰える、そんな『姫路黒棧』ブランドを構築したいと考えています。

## 職人坂本のこだわり

全工程を自社でやる！

理想の黒棧革を作るには、漆との相性の良い下地革を作る必要があります。

それによって、理想の漆塗りが可能になります。革・漆それぞれの特性と物性を知り尽くしているものだけに理想の黒棧革が作製できます。

エコレザー認定

化学薬品を極力使わず、環境に優しいなめし技法により人と自然に優しい革を生み出しました。



## 黒棧革が出来るまで

坂本商店では、なめしから加工までを一貫生産しています。

黒毛和牛の原皮を脱毛し、白くなめし、植物からとった「渋」を浸透させます。ここ10年近くはタンニンなめしの技術も取り入れました。次に液状の鉄を浸透させます。液自体は黒くありませんが、渋と鉄が化学反応を起こし茶色の牛革が黒くなっていきます。

黒棧革のシボの表情には、型押し・極上黒棧（手もみ）・『極 KIWAMI』が有ります。シボに手作業で漆を塗り、乾燥と塗りを繰り返します。幾層にも塗り重ねることで漆の光沢とボリューム感が生まれ、黒の艶に深みが増します。

こうした手間をかけて完成した黒棧革は数少なく、専門の職人でも月に20枚程度しか作れない大変希少なものです。

## ◎ 出展・受賞歴 ◎

- 2004年 ひょうごニューレザークンテスト 優秀賞
- 2008年 東京レザーフェアに初参加  
ひょうごニューレザークンテスト 審査委員長賞受賞
- 2010年 ひょうごニューレザークンテスト 知事賞受賞
- 2012年 ひょうごニューレザークンテスト 経済産業省製造産業局長賞 & 日本エコレザー大賞受賞
- 2013年 ひょうごニューレザークンテスト 経済産業省近畿経済産業局長賞 & 日本エコレザー大賞受賞  
香港 APLF 展示会出展
- 2014年 香港 APLF 展示会 皮革素材・製造技術展 2014 で ベストニューレザークンテスト 大賞受賞
- 2016年 パリプリミエールヴィジョンにて バンドル賞受賞
- 2018年 ひょうごニューレザークンテスト 経済産業省製造産業局長賞 & 日本エコレザー大賞受賞

2008～2011年  
世界基準エコテックス class 2 取得  
日本エコレザー基準認定証 7品目取得  
※現在もこの基準を維持し続けている。

## 姫路黒棧革「極」について

2014 香港 APLF アワード MM&T 展（素材展）にて日本人初のベストニューレザークンテスト部門グランプリを受賞した姫路黒棧革『極』は、なめしの技術で、手もみに頼る事なく吟面のシボを最大限に引き出し、漆の特徴の乾固を利用し、なめしの技術と塗りの技術を極め、最大限に魅力を引き出し生まれた不易流行のジャパンレザーです。

審査員に「サムライ以来の伝統的な革をかばんや靴などの現代ファッションの域に高めた」と高く評されました。



世界最高峰のファッション素材見本市「プリミエール・ヴィジョン」が主催するテキスタイルアワード「PV アワード」で、日本企業としては初めてレザー部門で「ハンドル賞」を受賞しました。

国産の和牛の革を、鞣（なめ）しと漆の技術を融合する日本固有のレザー加工技術が高く評価されました。



## 姫路黒棧革

